

日中サービス支援型共同生活援助吉備路 地域連携推進会議 会議録

1. 日 時：令和8年8月20日（木）10：00～11：00
2. 場 所：日中サービス支援型共同生活援助吉備路 多目的室
3. 参加者：木村すみ子（利用者）、福澤紀久夫（家族）、須増隆仁（吉備信用金庫地域サポート部長）、小川修（総社市役所保健福祉部福祉課長 代理で河田さん）
4. 進行・記録：東森（日中サービス支援型共同生活援助吉備路 管理者）

5. 内容

(1) 開会挨拶（日中サービス支援型共同生活援助吉備路 管理者 東森）

- ・本日はご出席いただきありがとうございます。地域連携推進会議は、施設と地域の関係づくりを目的に始まりました。ぜひ、皆様の日頃の思いやご意見を自由に発信して頂き、短い時間ですが有意義なものにしたいと思っています。
- ・会議議事録の扱いについて
会議終了後に、議事録を作成し公表することが義務付けられています。議事録の内容について、公表前に皆様の発言の内容について同意を頂くため、内容の確認をお願いしますのでご協力をお願いします。

(2) 自己紹介

(3) 日中サービス支援型共同生活援助吉備路紹介（東森）

- ・事業内容・定員・日中活動内容等説明を行う

(4) 施設内見学

- ・参加者に施設内（2階居住スペース）を見て頂きながら、利用者皆さんの様子や建物等の説明を行う。

(5) 意見交換

- ・利用者は日中にどのように過ごされているか？
⇒個々の生活様式やニーズに沿った支援を提供。趣味嗜好に合わせた余暇の提供、趣味で作成した作品などは、ご本人の達成感や生きがいとなるように事業所で展示し来客者へ披露する機会を設けている。また、たね井やなどにも展示し販売を行っている。
- ・災害時の避難方法・危機管理はどのようにになっているのか？
⇒当事業所では、火災・地震・水害を想定した防災訓練を月に一度実施し、災害発生時の初動対応力の向上を図っている。訓練を通じて、避難経路の確認、通報手順の再点検、設備の安全性確認などを行っている。また、訓練後の振り返りにより、職員一人ひとりが自らの役割を再認識し、災害時に迅速かつ的確な行動が取れるように備えている。

- ・災害・停電はどのように対応するのか？

⇒3 階に発電機が備えており電源がダウンした際には自動で切り替わるようになっている。また、屋上に非常食を備蓄している。

(6) 今後の日中サービス支援型共同生活援助吉備路について

- ・以上の内利用者様の平均年齢が70歳となり高齢化が進む中、今後は「安全」「楽しさ」「地域とのつながり」を重視した支援を目指している。加齢に伴う変化に応じた個別支援を充実させ、安心して最期まで暮らせる環境を整えていきたい。また、地域住民との交流機会を積極的に設けることで社会参加を維持し、地域との相互理解を深め、これらの取り組みを通じて、吉備路が高齢になっても安心して暮らし続けられる共同生活援助のモデルとなるよう、職員一同で支援の質向上に努めていく。